



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション  
 コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 岡田高志

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,286	2.5	172	93.0	181	104.0	117	192.4
2021年3月期第3四半期	2,345	5.3	89	37.4	89	15.7	40	69.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 120百万円 (101.7%) 2021年3月期第3四半期 59百万円 (39.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	31.93	
2021年3月期第3四半期	10.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,980	5,149	86.1
2021年3月期	5,835	5,192	89.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 5,149百万円 2021年3月期 5,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		40.00	40.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,466	8.4	273	26.3	273	26.7	191	114.5	52.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	4,536,000 株	2021年3月期	4,536,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	859,612 株	2021年3月期	859,612 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	3,676,388 株	2021年3月期3Q	3,791,443 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更等)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだものの、感染力が強いとされるオミクロン株により感染が再拡大し、依然として不透明な状況で推移しております。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新型コロナウイルス感染症対策への対応等、新しい仕組みづくりが求められております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、新型コロナウイルス感染症の対策も含め、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続することに尽力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高22億86百万円(前年同期比58百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益1億72百万円(前年同期比83百万円増)、経常利益1億81百万円(前年同期比92百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億17百万円(前年同期比77百万円増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシスを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は6,362名(前年同期比4.0%増)となり、売上高は17億58百万円(前年同期比97百万円増)となり、セグメント利益は1億80百万円(前年同期比59百万円増)となりました。

#### (スポーツ事業)

当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は5,498名(前年同期比4.0%減)となり、売上高は3億11百万円(前年同期比19百万円減)、セグメント利益は19百万円(前年同期比4百万円増)となりました。

#### (飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億39百万円(前年同期比11百万円減)、セグメント損失は25百万円(前年同期はセグメント損失23百万円)となりました。

#### (その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は78百万円(前年同期比1億24百万円減)、セグメント損失は1百万円(前年同期はセグメント損失23百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は41億38百万円(前連結会計年度末比1億68百万円増)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億78百万円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は18億42百万円(前連結会計年度末比22百万円減)となりました。

これは主に、投資その他の資産が17百万円減少したことと、有形固定資産が4百万円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は6億68百万円(前連結会計年度末比1億79百万円増)となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が2百万円増加したこと、短期借入金が70百万円増加したこと、未払法人税等が24百万円増加したこと、及びその他が81百万円増加したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億61百万円(前連結会計年度末比7百万円増)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が4百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は51億49百万円（前連結会計年度末比42百万円減）となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が46百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年5月10日付で公表いたしました業績予想から修正はありません。なお、特別損益等、業績に影響を与える事象が発生した場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,651,580	3,830,483
受取手形及び売掛金	13,426	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	8,866
商品及び製品	183,064	197,383
原材料及び貯蔵品	9,870	7,606
その他	112,127	93,758
流動資産合計	3,970,070	4,138,098
固定資産		
有形固定資産	318,870	314,595
無形固定資産	21,956	20,769
投資その他の資産		
投資有価証券	1,018,105	1,022,386
その他	506,118	484,589
投資その他の資産合計	1,524,224	1,506,976
固定資産合計	1,865,051	1,842,340
資産合計	5,835,122	5,980,439
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,053	32,563
短期借入金	140,000	210,000
未払法人税等	14,981	39,972
賞与引当金	42,323	42,796
その他	261,414	343,399
流動負債合計	488,772	668,732
固定負債		
退職給付に係る負債	103,478	107,661
資産除去債務	17,589	17,680
その他	32,840	36,489
固定負債合計	153,907	161,831
負債合計	642,680	830,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,705,312	5,659,297
自己株式	△736,402	△736,402
株主資本合計	5,211,309	5,165,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,138	△33,081
為替換算調整勘定	16,271	17,662
その他の包括利益累計額合計	△18,867	△15,419
純資産合計	5,192,442	5,149,875
負債純資産合計	5,835,122	5,980,439

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	2,345,127	2,286,229
売上原価	1,677,599	1,551,727
売上総利益	667,528	734,502
販売費及び一般管理費	577,956	561,636
営業利益	89,572	172,865
営業外収益		
受取利息	1,051	971
受取配当金	5,881	9,002
投資有価証券評価益	-	5,449
受取賃貸料	1,430	1,396
補助金収入	2,000	-
その他	1,389	1,881
営業外収益合計	11,752	18,701
営業外費用		
支払利息	1,823	1,120
支払手数料	-	2,930
持分法による投資損失	2,321	5,008
投資有価証券評価損	8,035	-
その他	34	703
営業外費用合計	12,214	9,762
経常利益	89,110	181,804
特別利益		
事業分離における移転利益	-	636
投資有価証券売却益	14,256	-
特別利益合計	14,256	636
特別損失		
役員退職慰労金	30,000	-
固定資産売却損	-	42
固定資産除却損	11,581	555
特別損失合計	41,581	598
税金等調整前四半期純利益	61,785	181,842
法人税等	22,816	64,447
四半期純利益	38,969	117,394
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,182	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,152	117,394

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	38,969	117,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,468	2,057
為替換算調整勘定	△1,516	1,390
その他の包括利益合計	20,951	3,447
四半期包括利益	59,920	120,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,103	120,842
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,182	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、教育事業およびスポーツ事業の入会金等については、従来は契約開始月入会金等の受領時に収益を認識していましたが、履行義務の充足に係る合理的な期間を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識することとしております。また、受領した入会金等に係る契約負債を前受金として計上しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が1,102千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,102千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は16,354千円減少しており、当第3四半期連結会計期間末の投資その他の資産のその他が7,647千円増加し、流動負債その他が17,091千円増加するとともに、固定負債その他が5,807千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,661,513	330,292	151,344	2,143,150	201,977	2,345,127	—	2,345,127
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	969	969	△969	—
計	1,661,513	330,292	151,344	2,143,150	202,946	2,346,097	△969	2,345,127
セグメント利益又 は損失(△)	120,885	15,414	△23,159	113,140	△23,568	89,572	—	89,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,758,602	311,162	139,451	2,209,215	77,013	2,286,229	—	2,286,229
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	1,275	1,275	△1,275	—
計	1,758,602	311,162	139,451	2,209,215	78,289	2,287,504	△1,275	2,286,229
セグメント利益又 は損失(△)	180,840	19,551	△25,919	174,472	△1,607	172,865	—	172,865

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「教育事業」の売上高は4,528千円増加、セグメント利益は4,528千円増加し、「スポーツ事業」の売上高は3,504千円減少、セグメント利益は3,504千円減少し、「飲食事業」の売上高は78千円増加、セグメント損失は78千円減少しております。